

赤井川村地域公共交通活性化協議会 開催結果

会議名	赤井川村地域公共交通活性化協議会 令和7年度第3回
開催日時・場所	赤井川村役場 第3会議室 令和7年11月10日（月）10：30～11：15
出席者	出席委員：12名 他：代理出席 2名、委任状 6名
議題	1. 開会 2. 会長挨拶 3. 説明・協議事項 (1) 赤井川村地域公共交通バス（むらバス）の運行状況について (2) 赤井川村地域公共交通実証運行について (3) 令和7年度「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクトの実施について (4) 赤井川村地域公共交通活性化協議会委員に余市町を加えることについて
会議資料	別紙のとおり

会議結果

当初の案内から、説明・協議事項が変更となった旨を通知

(1) 赤井川村地域公共交通バス（むらバス）の運行状況について

○特に質疑なし

(2) 赤井川村地域公共交通実証運行について

【委員】

・チラシ内容に誤字がある。

【事務局】

・再度確認し、配布する際には修正する。

【委員】

・2便の短縮はどれくらいの効果があるか。

【事務局】

・20分弱の短縮が見込まれる

【委員】

・平日、休日の横に、英語表記があると、外国人の方も利用しやすいと思う。

【事務局】

・英語版を作成する予定であるが、表記の追記についても検討する

【委員】

・高校生保護者の意見を聞く機会があり、部活動やアルバイトのあとは、迎えに行

くケースが多い、と聞いている

【事務局】

・朝の時間帯の接続は必須としているが、帰りは合わせられる方がご利用をいただく想定をしている

【委員】

・最終便について JR との接続可能と理解できるが、そもそも最終便に接続可能な JR に高校生等は間に合うか

【事務局】

・現地で見た限りでも、帰りの JR で一番利用が多い便であるため、ターゲットにしている

【委員】

・接続していること自体が重要なので、提案の冬ダイヤで良いと思う

【事務局】

・まずは実証運行として実施をするため、モニタリングの上、方向性を見定めたい

(3) 令和7年度「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクトの実施について

○特に質疑なし

(4) 赤井川村地域公共交通活性化協議会委員に余市町を加えることについて

○特に質疑なし

その他

【委員】

・利用状況が増加しているということで、要因は把握されているか

【事務局】

・明確な分析結果はないが、村民やキロロ従業員の利用が一定程度浸透したイメージである

【委員】

・村民の方で誘い合わせて乗車しているケースも散見される

【事務局】

・当初は通院目的が主だったが、買い物時の移動手段として認識されつつあるように感じている

【委員】

・保護者としては、運転手も明るく、非常に利用しやすい環境と思う

→実際に、他の保護者からの同様の声を聞いている

・本村から都に行く際にも活用できるのはありがたい

- ・自家用車の代わり、保険として、むらバスが運行していることは大変助かる
- ・スキー類を積載できるのも非常に良い

【事務局】

- ・中央バス時代から比べると、空車率が圧倒的に下がっている
- ・地域に着実に根付きつつある地域交通となっている印象

【委員】

- ・むらバスが利用できないケース（定員オーバー）はあったか。今年は大丈夫か

【事務局】

- ・キロロ従業員が多く利用したケースがあったため、キロロ側と調整をかけている
- ・今年も、利用できないケースが頻発することはないと思われる

【委員】

- ・ホテルが3つあるが、10席程度は空けておくように周知はしている
- ・一方で、外国人従業員には伝わりにくい部分があるため、もし、乗車できないケースがあったら教えていただきたい